

ステージSEN代表 早坂 恵美子さん

平成22年9月、自然環境に恵まれた川口市戸塚に、総檜作りの舞台と、四季折々の花や緑を配した庭、くつろぎのカフェテラス「さやそよ」を併設した新しい施設「ステージSEN」がオープンしました。代表の早坂さんはサイタマレディース経営者クラブの会員で、これまで2つの会社を運営されてきましたが、日本の美を伝えていきたいという想いで、ステージSENを立ち上げられました。そこで今回はステージSENを始められたきっかけや、日本の美を伝える想いをご紹介します。

【ステージSENを始められたきっかけについて】

もともと30人前後の子供たちに日本舞踊を教えていましたが、日本舞踊は発表する舞台の確保が難しく、場所が確保できたとしても都内かつ利用料が高額だったりしました。だったら自分で「発表できる舞台を作ってしまう」と思い、日本舞踊用の舞台と日本庭園、くつろぎのカフェを併設した新事業「ステージSEN」を立ち上げました。ステージSENは「和事ノ辻(わごとのつじ)」をコンセプトに日本の美を伝えることを目的としています。名前の由来「SEN」は、妹の名前(千鶴子)、千客万来の「千」からとっています。



< 総檜の舞台は、いい香りがしました >

【カフェテラス「さやそよ」は？】

「さやそよ」は、お客様がお茶を飲んでくつろげる場所を作ろうと思い、当初は舞台の付録として作りました。この場所がちょうど高台にあることから、高台で風がさやさや、そよそよと吹くことを伝えたいと思い、「さやそよ」と名付けました。

現在は、ランチタイムを中心に営業しています。夜はご予約のみの営業ですが、月1回のペースでサロンコンサートを開催しています。



< カフェテラスさやそよ >

【ステージSENの反応は？】

当初は、高台に何が立つのか、周辺住民の方から興味津々でお問い合わせがありました。タウン誌でのご紹介をきっかけに川口市周辺の方をはじめ、様々な方からお声がかかるようになり、少しずつ動き始めました。

ステージSENは、都内にある「神谷舞台」のような位置づけでありたいと思います。日本舞踊をはじめ、気軽に檜舞台をいつでも誰でも使えるようにしていきたい、ゆくゆくは「戸塚町サロン」として集うコミュニティの場にしたいと思います。



< 日本舞踊を舞う早坂さん(左) >

【これまで経営者として経営されてきましたが、それと何が違いますか？】

40代、50代は会社の立ち上げや会社経営、ISO取得などにとっても忙しく、自分の趣味にゆっくり取り組める時間はありませんでした。現在、会社の経営は三人の息子に任せ、ようやく自分のやりたいことを思う存分、やれるようになりました。

また、これまで働いて貯めたお金をどう使うか、ということもありました。もちろん、高い宝石を買うのも一つです。でも、「自分の存在意義を見つけたい」「もう一度学びたい」「認めてもらいたい」という想いが強くありました。もちろん、カルチャーセンターに通えば学ぶことはできますが、自分の存在意義や自己実現はできません。

そこで日本舞踊をはじめ、日本の美の発信地として、舞台を作り、茶道や着付け教室など子供たちに礼儀を教える場を提供していきたい、つまりステージSENは、「見て、楽しみ、やりたいことをやる」ダイヤモンドなのです。

【今後の抱負をお聞かせください】

東川口は新しい世帯が増加する地域です。だからこそ、「和の美の発信地」として、次の世代に和の文化を伝えていきたいと思っています。ステージSENでは、舞台と庭園を使っての和文化の発表会や、カフェテラスでの華道教室など、施設を余すところなく活用し、戸塚地域のコミュニティサロンとして多くの方にご利用いただきたいと考えています。



ステージSEN & カフェテラスさやそよ

〒333-0811 埼玉県川口市大字戸塚字下台 4625

電話 048-229-4721

<http://www9.plala.or.jp/Stage-SEN/>